

令和6年度保護者アンケートの結果（単年版）

令和6年度保護者アンケートの概要

【目 的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和7年1月17日（金）から令和7年1月31日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

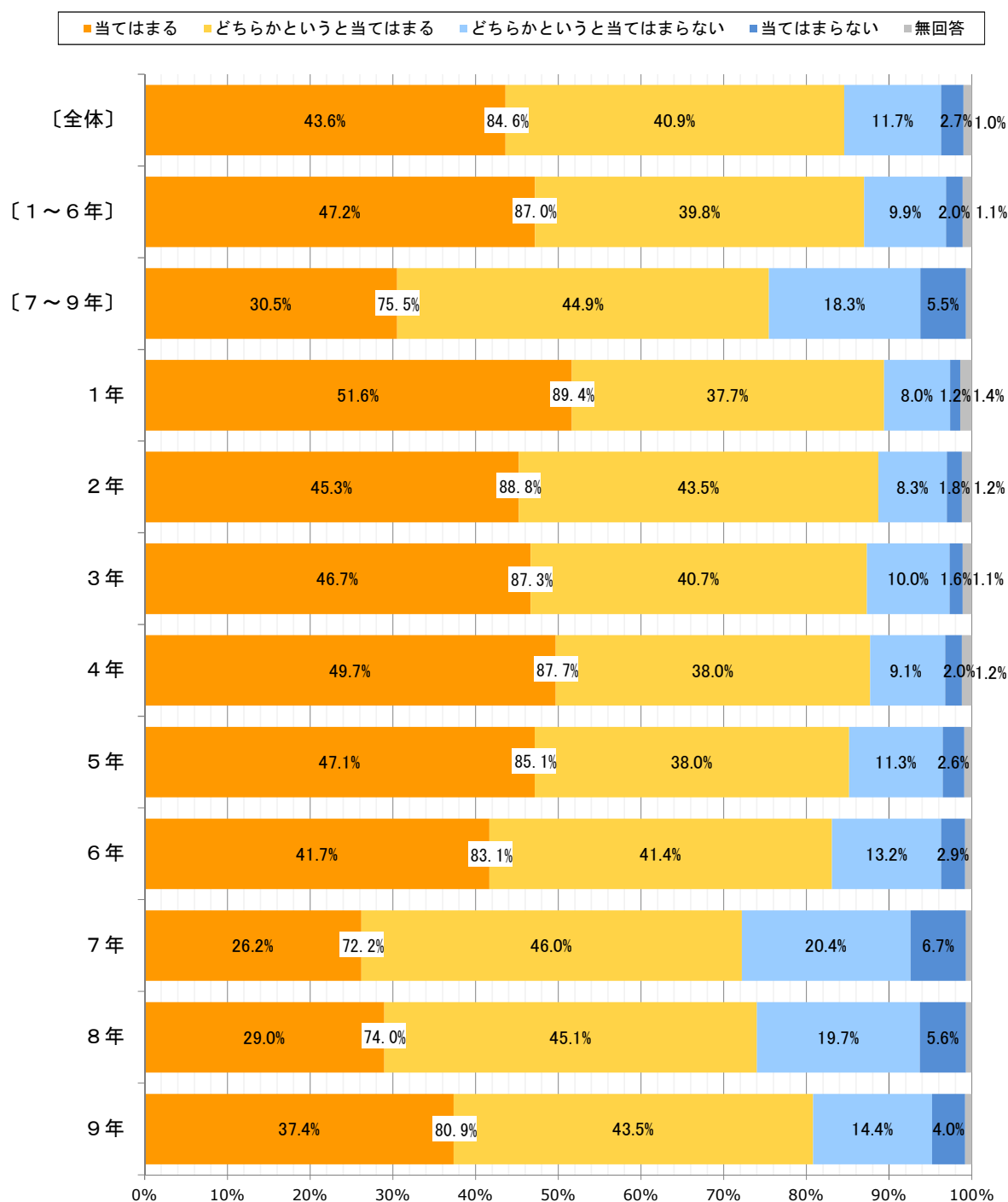
配布数 23,109 有効回答数 20,490 回答率 88.7%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

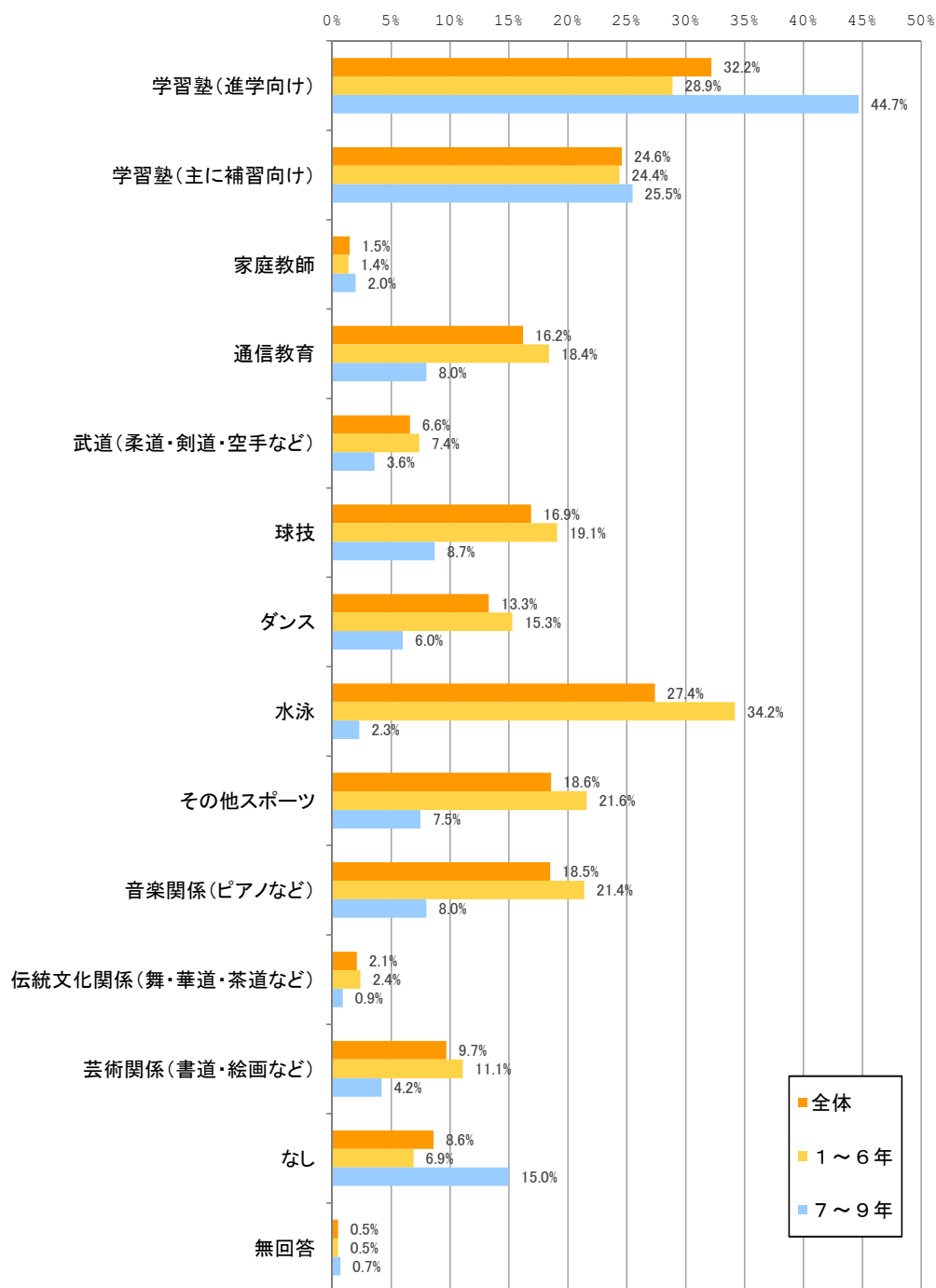
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 家庭学習の習慣を身に付けるようにしている。



[家庭学習の習慣を身に付けるようにしている]に『肯定的な回答』は、全体では84.6%であり、1～6年では87.0%、7～9年では75.5%である。また、全ての学年で70%台～80%台の範囲である。「当てはまる」と回答した割合は、1～6年では47.2%であるのに対し、7～9年では30.5%と15ポイント以上差がある。

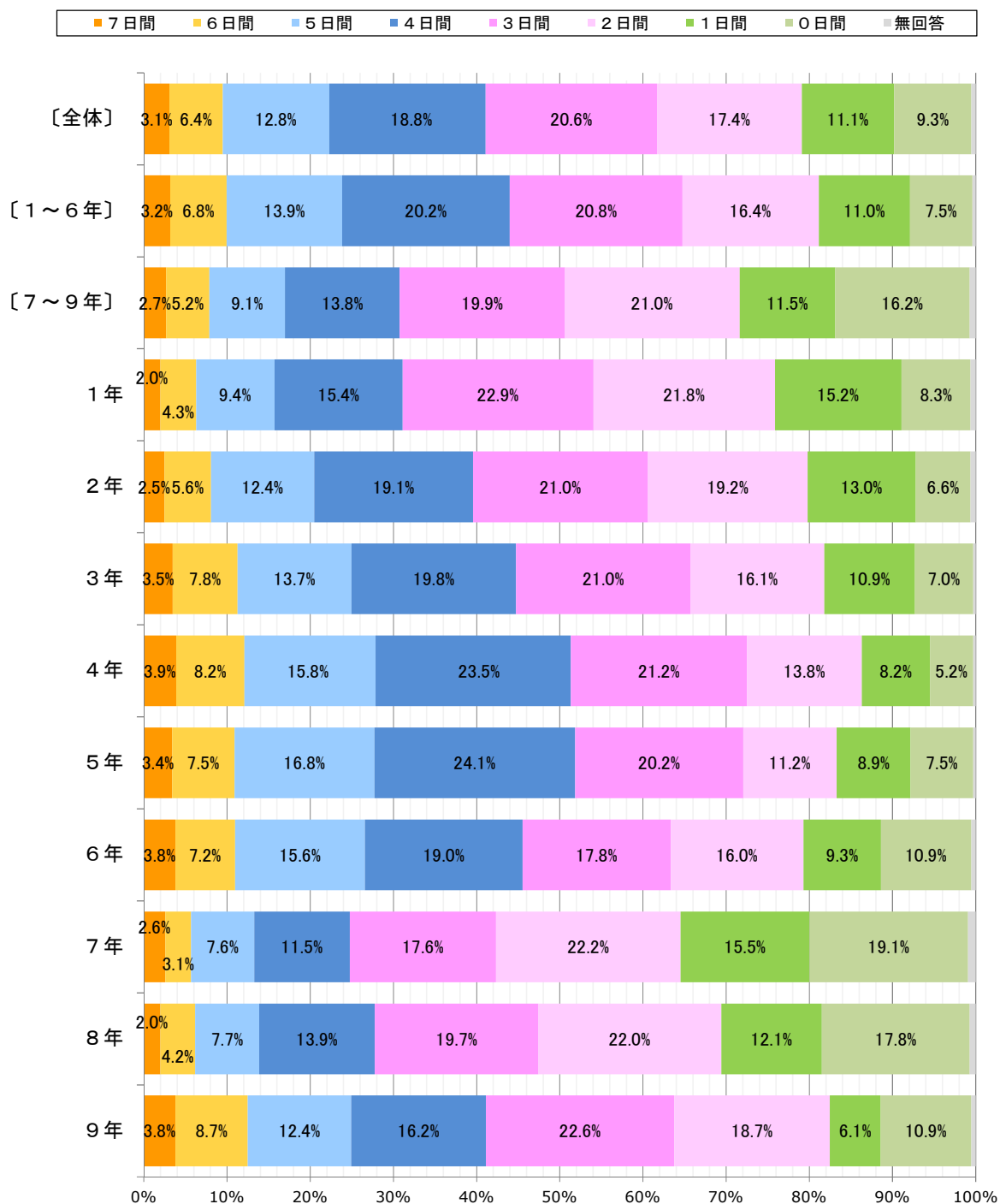
[2] どのような塾や習い事をしていますか。現在行っているものをすべて選んでください。



現在行っている塾や習い事は、「学習塾（進学向け）」が全体では32.2%と最も高く、次いで「水泳」27.4%、「学習塾（主に補習向け）」24.6%と続く。

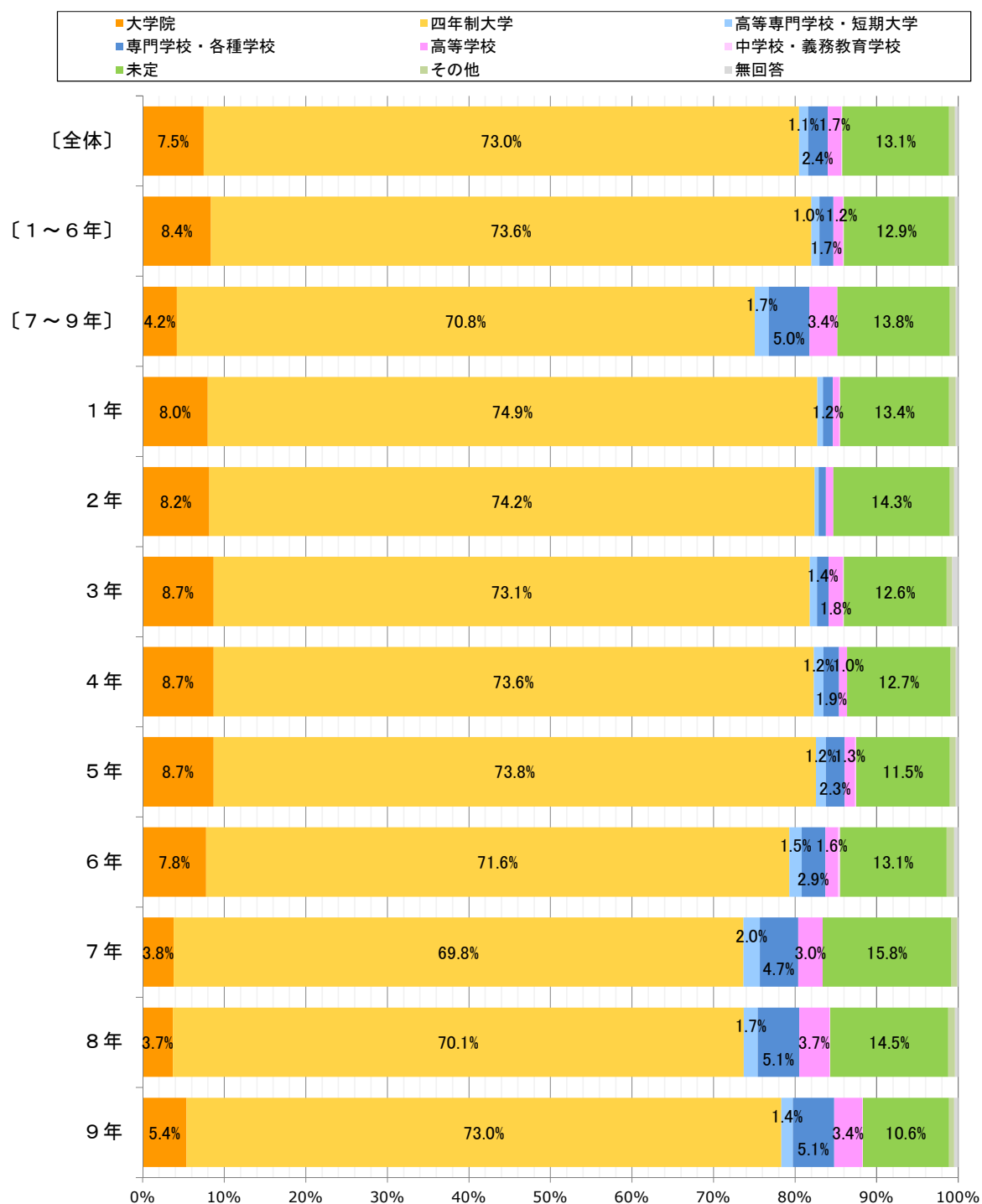
1～6年と7～9年で10ポイント以上差があるものとして、「水泳」「音楽関係（ピアノなど）」「通信教育」「球技」では1～6年の方が高く、「学習塾（進学向け）」では7～9年の方が高い。

[3] 1週間のうち、塾や習い事を何日間行っていますか。



1週間のうち、塾や習い事に行っている日数は、全体では『3日間以上』が60%以上を占める。
『3日間以上』は1～6年では64.9%であるのに対し、7～9年では50.7%と15ポイント近く差がある。

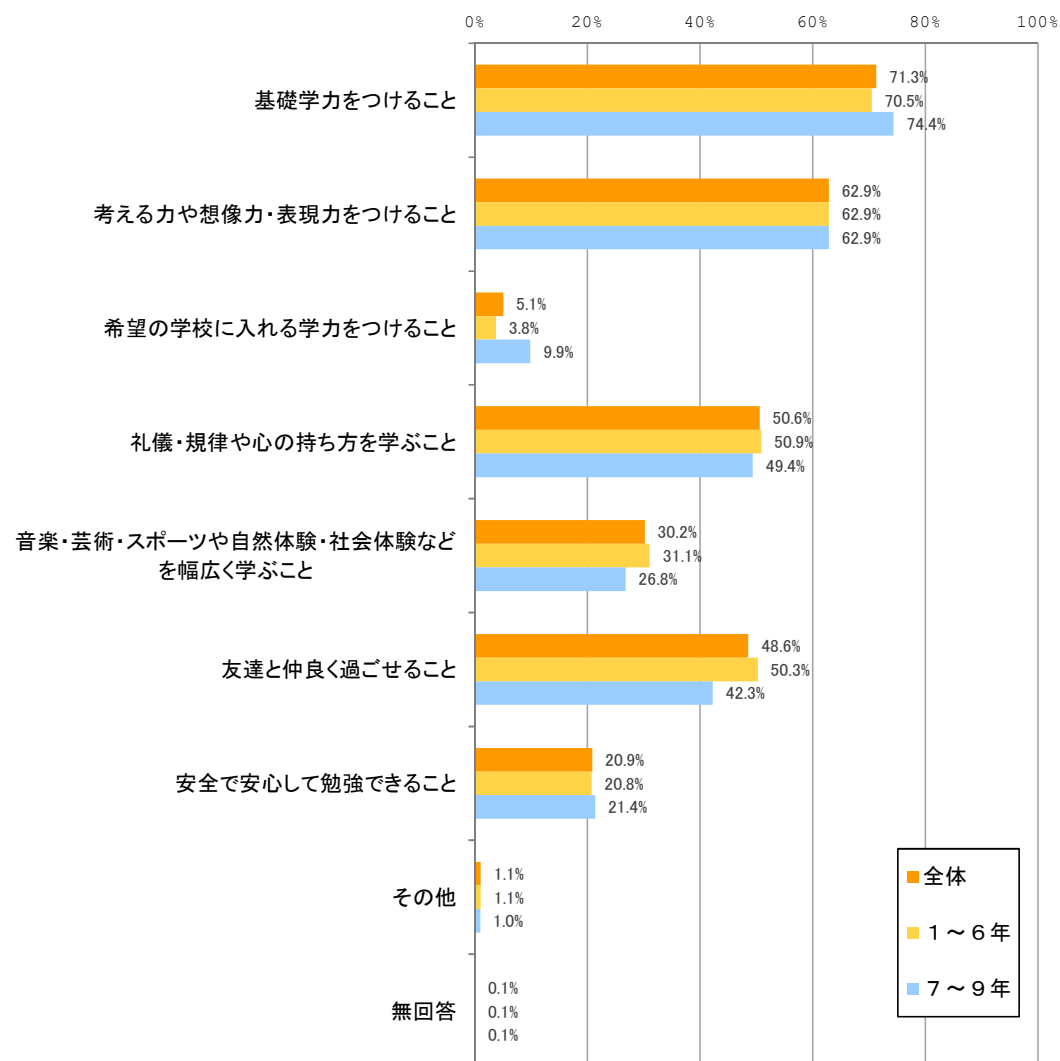
[4] 将来どの学校まで進学するように考えていますか。



将来どの学校まで進学するように考えているかについては、「大学院」と「大学」の合計が全体では80%以上を占めている。1～6年では82.0%であるのに対し、7～9年では75.0%と5ポイント以上差がある。

[B. 品川区の教育施策について]

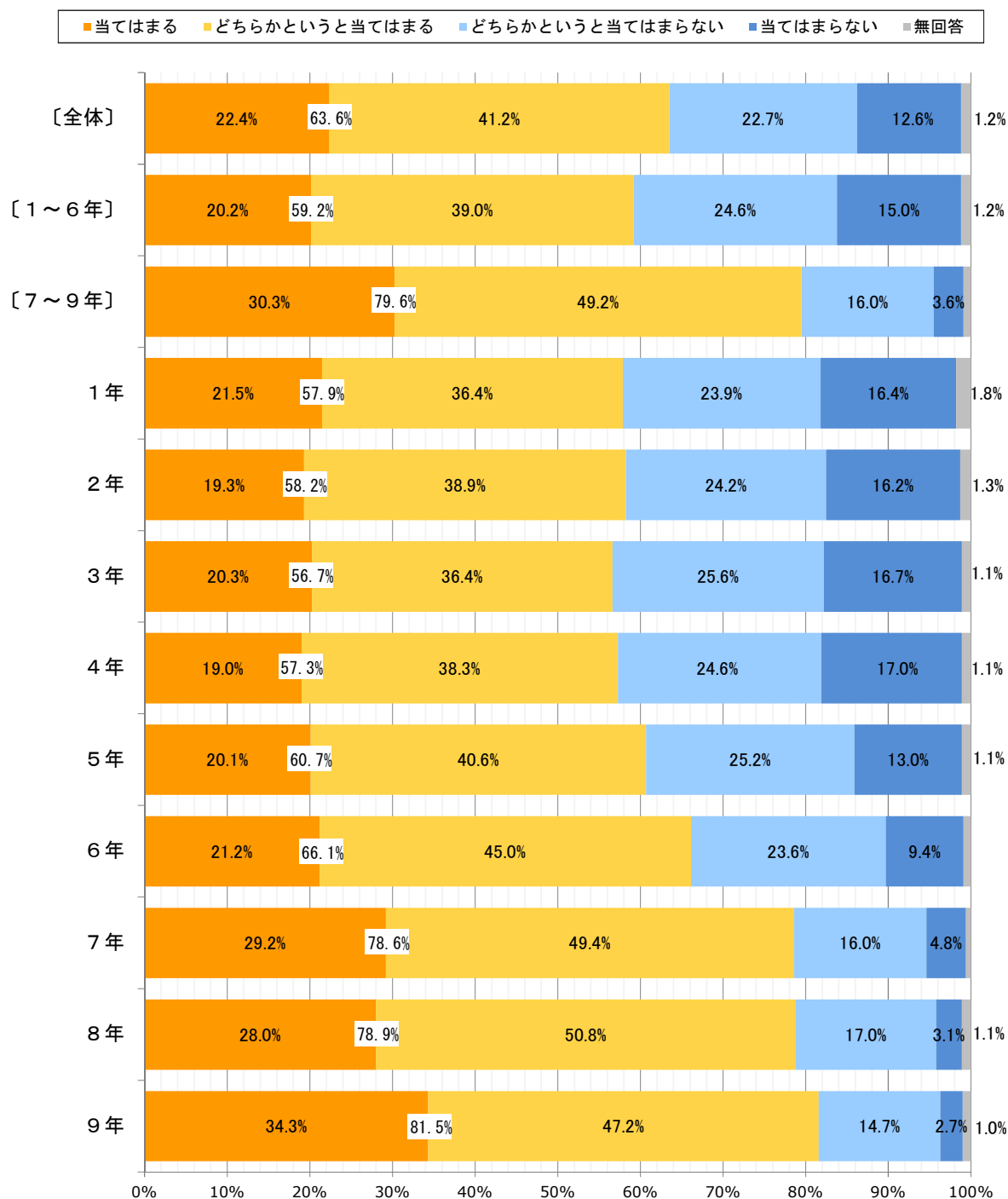
[5] 義務教育段階で重要だと思うことは何ですか。当てはまるものから3つを選択してください。



義務教育段階で重要だと思うことは、「基礎学力をつけること」が全体では71.3%と最も高く、次いで「考える力や想像力・表現力をつけること」62.9%、「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」50.6%と続く。

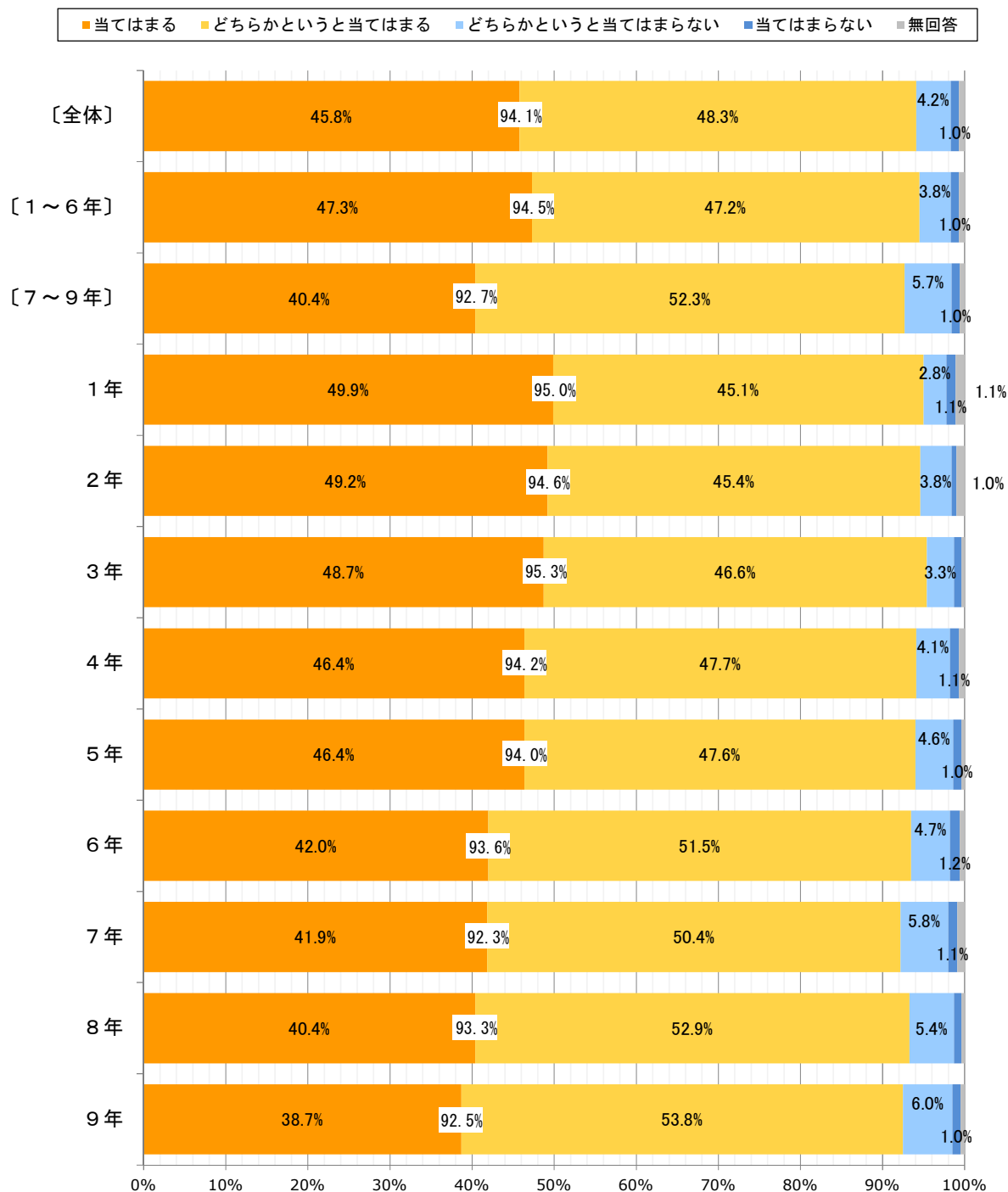
「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」「音楽・芸術・スポーツや自然体験・社会体験などを幅広く学ぶこと」「友達と仲良く過ごせること」は7～9年に比べて1～6年の方が高いが、「希望の学校に入れる学力をつけること」「安全で安心して勉強できること」は1～6年に比べて7～9年の方が高い。

[6] お子さんの通っている学校は一貫教育を推進していると思う。



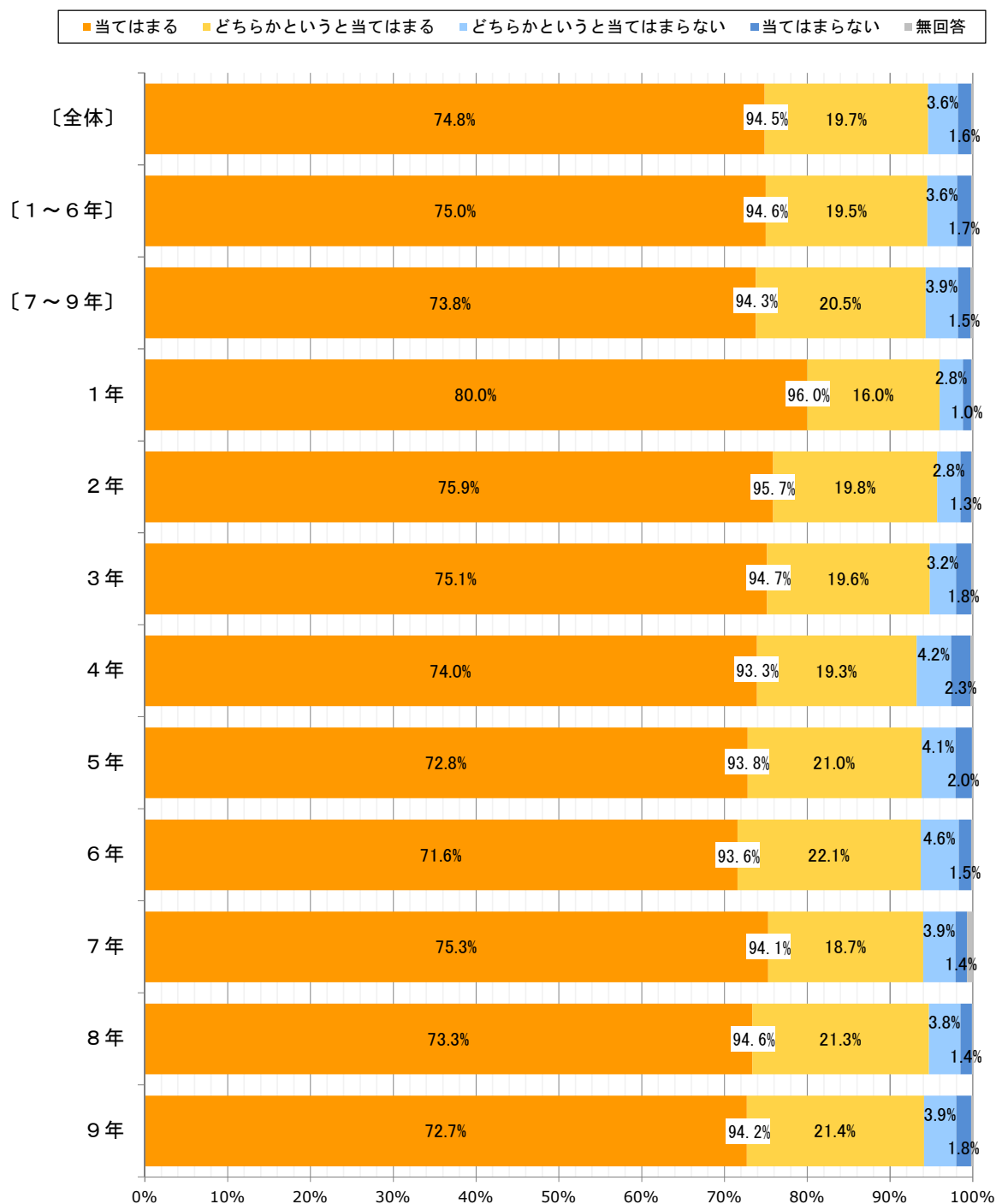
「お子さんの通っている学校は一貫教育を推進していると思う」に『肯定的な回答』は、全体では63.6%である。1～6年は59.2%、7～9年は79.6%である。
 「当てはまる」と回答した割合は、1～6年では20.2%であるのに対し、7～9年では30.3%と10ポイント以上差がある。

[7] 市民科は、良い学習だと思う。



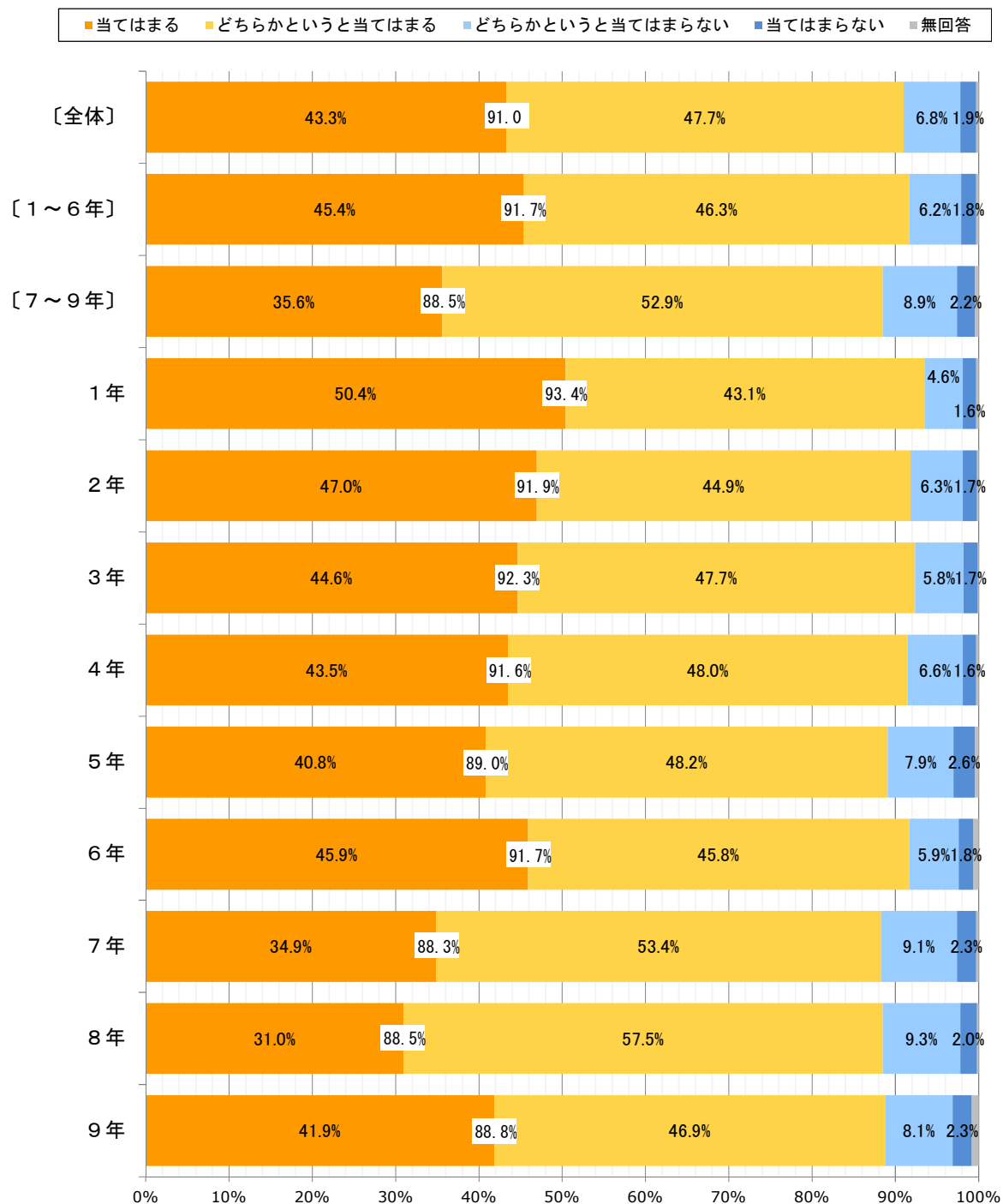
「市民科は、良い学習だと思う」に『肯定的な回答』は、全体では94.1%であり、1～6年では94.5%、7～9年では92.7%である。また、全ての学年で90%を超えている。
「当てはまる」と回答した割合は、全ての学年で30%台～40%台の範囲である。1～6年では47.3%であるのに対し、7～9年では40.4%と5ポイント以上差がある。

[8] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に『肯定的な回答』は、全体では94.5%であり、1～6年では94.6%、7～9年では94.3%である。また、全ての学年で90%を超えている。
「当てはまる」と回答した割合は、全ての学年で70%台～80%台の範囲である。1年では80.0%であるのに対し、6年では71.6%と5ポイント以上差がある。

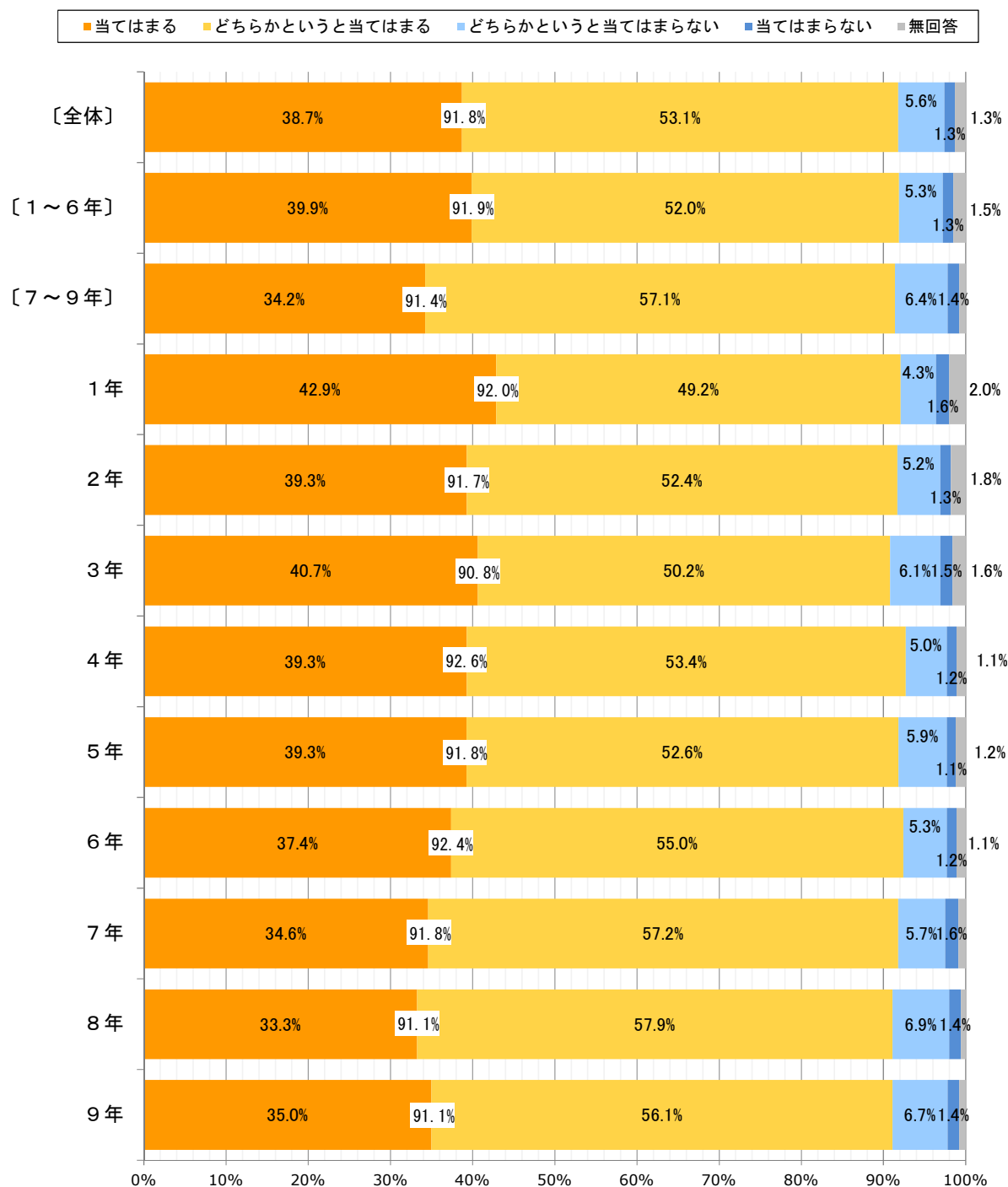
[9] 現在通っている学校に満足している。



〔現在通っている学校に満足している〕に『肯定的な回答』は、全体では91.0%であり、1～6年では91.7%、7～9年では88.5%である。また、全ての学年で80%台～90%台の範囲である。
「当てはまる」と回答した割合は、1～6年では45.4%であるのに対し、7～9年では35.6%と10ポイント近く差がある。

[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

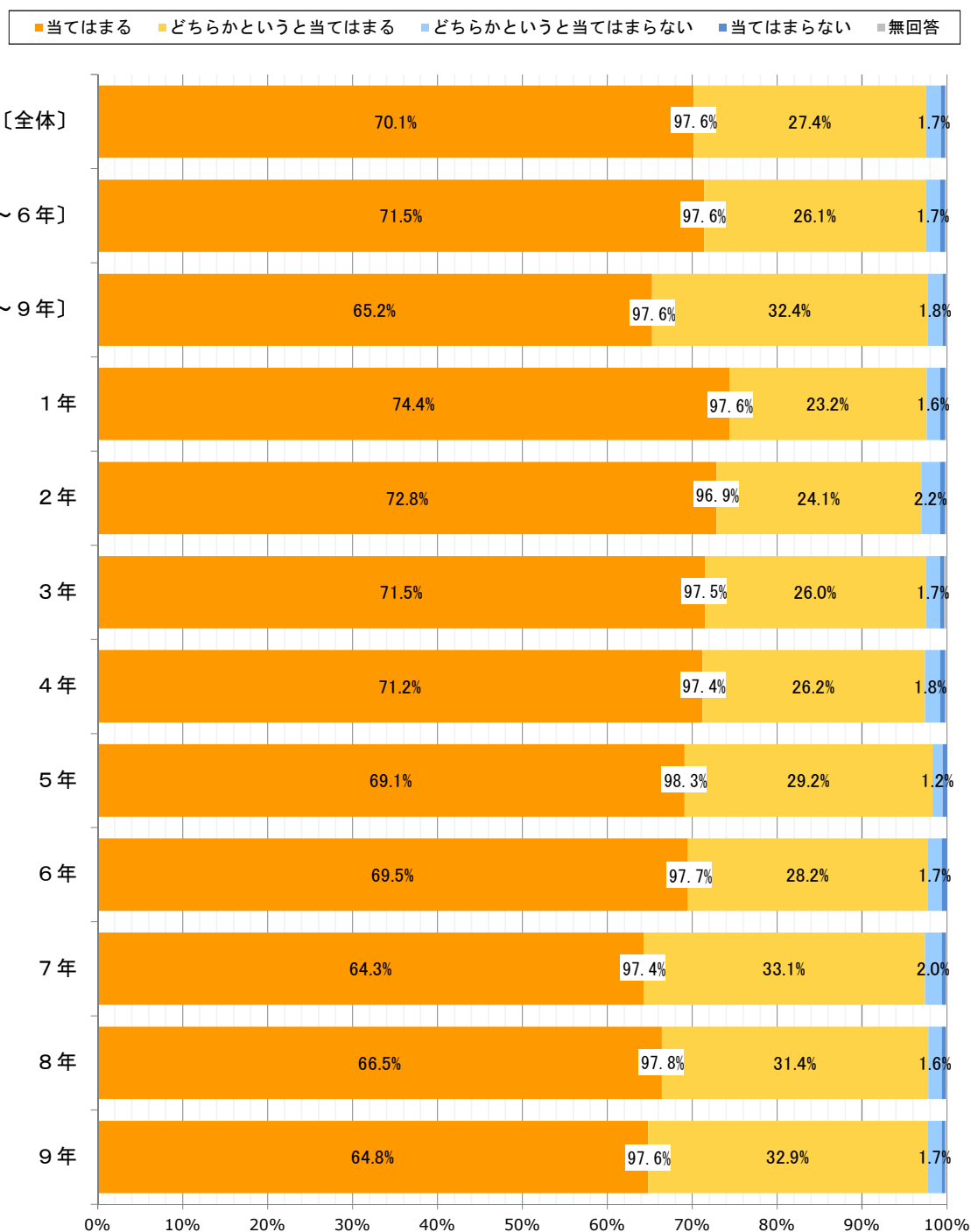
[10] 品川コミュニティ・スクールは良い取り組みだと思う。



〔品川コミュニティ・スクールは良い取り組みだと思う〕に『肯定的な回答』は、全体では91.8%であり、1～6年では91.9%、7～9年では91.4%である。また、全ての学年で90%以上である。
 「当てはまる」と回答した割合は、全ての学年で30%台～40%台の範囲である。1～6年では39.9%であるのに対し、7～9年では34.2%と5ポイント以上差がある。

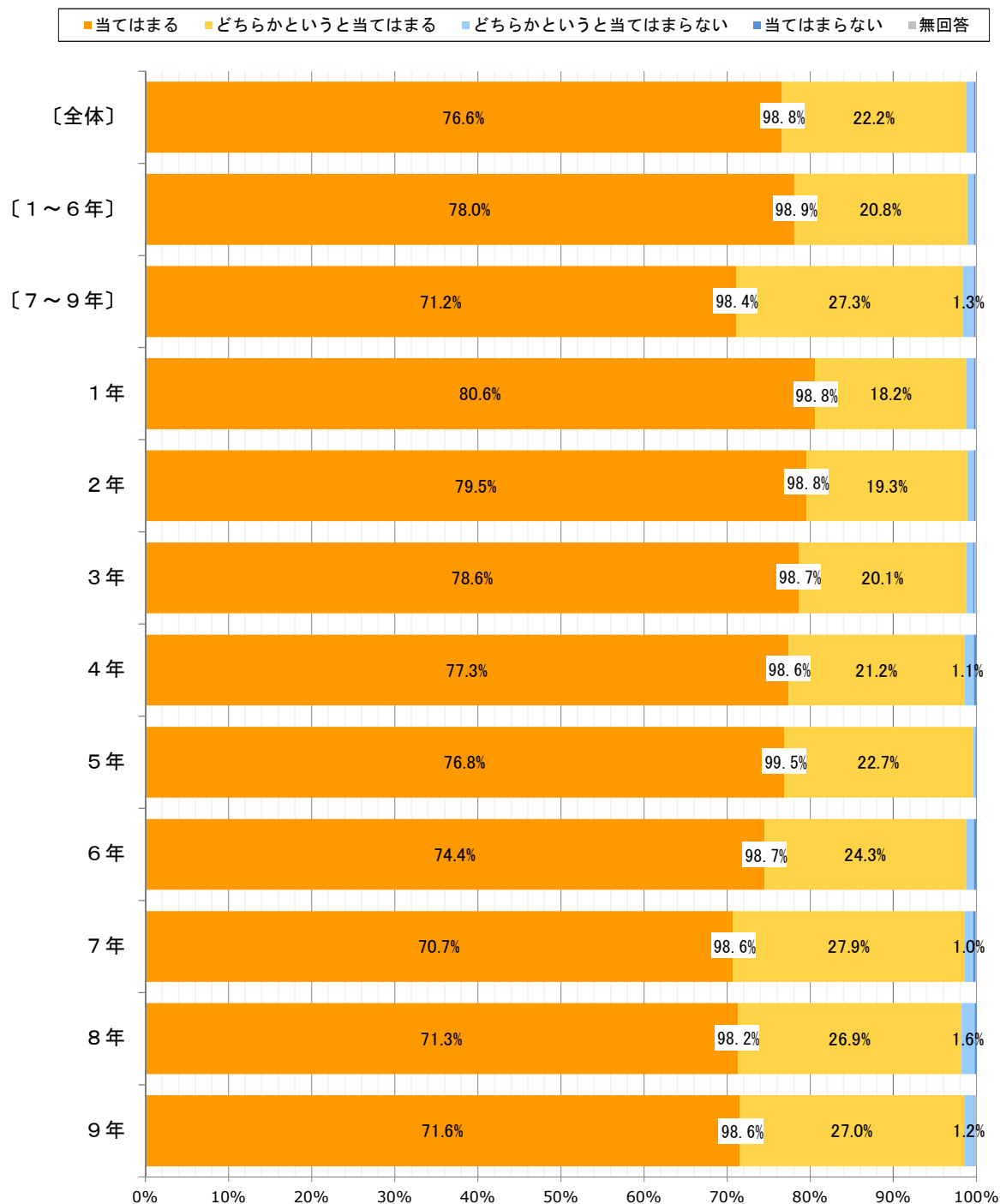
[D. 多様性・多文化理解について]

[11] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。



「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体では97.6%であり、1～6年、7～9年でそれぞれ97.6%である。また、全ての学年で90%以上である。
「当てはまる」と回答した割合は、全ての学年で60%台～70%台の範囲となっている。1～6年では71.5%であるのに対し、7～9年では65.2%と5ポイント以上差がある。

[12] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。



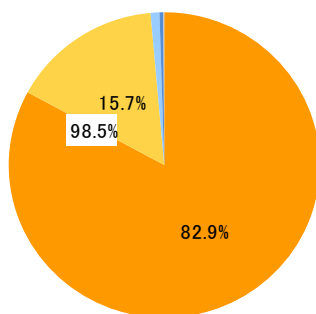
「お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体では98.8%であり、1～6年では98.9%、7～9年では98.4%である。また、全ての学年で90%以上である。「当てはまる」と回答した割合は、全ての学年で70%台～80%台の範囲となっている。1～6年では78.0%であるのに対し、7～9年では71.2%と5ポイント以上差がある。

[11] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。

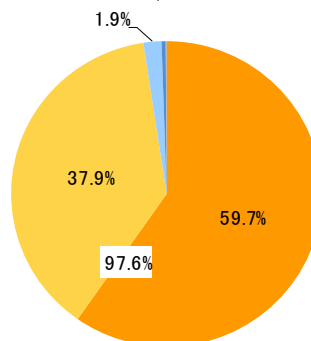
[7] 市民科は、良い学習だと思う。とのクロス集計

■当てはまる ■どちらかという当てはまる ■どちらかという当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

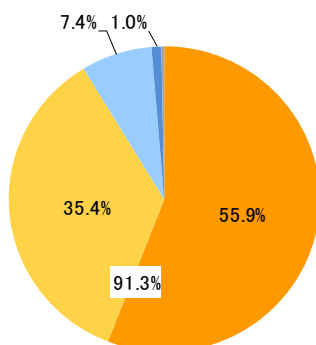
(市民科は、良い学習だと思う。)
当てはまる
n=9,392



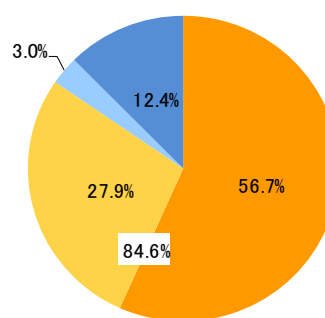
(市民科は、良い学習だと思う。)
どちらかという当てはまる
n=9,889



(市民科は、良い学習だと思う。)
どちらかという当てはまらない
n=870



(市民科は、良い学習だと思う。)
当てはまらない
n=201



		設問 1 1											
		当てはまる		どちらかという 当てはまる		どちらかという 当てはまらない		当てはまらない		無回答		計	
設 問 7	当てはまる	7,782	82.9%	1,471	15.7%	88	0.9%	40	0.4%	11	0.1%	9,392	100.0%
	どちらかという当てはまる	5,904	59.7%	3,747	37.9%	191	1.9%	37	0.4%	10	0.1%	9,889	100.0%
	どちらかという当てはまらない	486	55.9%	308	35.4%	64	7.4%	9	1.0%	3	0.3%	870	100.0%
	当てはまらない	114	56.7%	56	27.9%	6	3.0%	25	12.4%	0	0.0%	201	100.0%

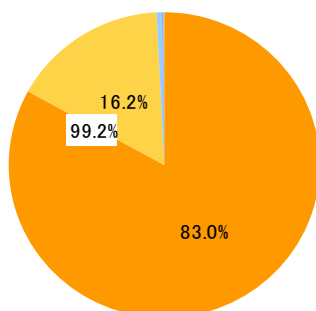
設問[7]の「市民科は、良い学習だと思う」の回答別に見ると、「[お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う]に『肯定的な回答』は、「市民科は、良い学習だと思う」に「当てはまる」で98.5%、「どちらかという当てはまる」で97.6%、「どちらかという当てはまらない」で91.3%、「当てはまらない」で84.6%と、市民科は、良い学習だと思う人ほど、お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う傾向が見られた。

[12] お子さんが多文化について理解することは大切だと思う。

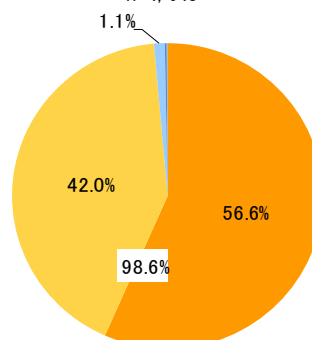
[8] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。とのクロス集計

■当てはまる ■どちらかという当てはまる ■どちらかという当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

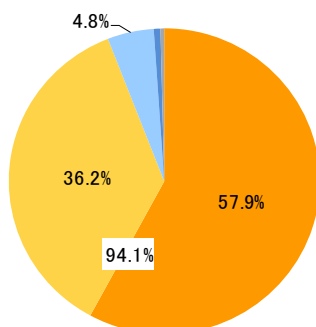
(1年生からの英語学習は良いことだと思う。)
当てはまる
n=15,321



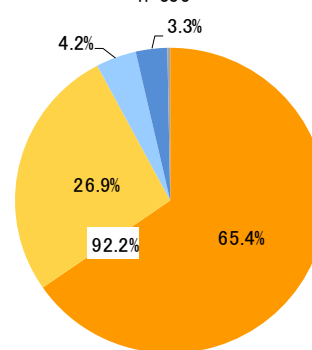
(1年生からの英語学習は良いことだと思う。)
どちらかという当てはまる
n=4,043



(1年生からの英語学習は良いことだと思う。)
どちらかという当てはまらない
n=745



(1年生からの英語学習は良いことだと思う。)
当てはまらない
n=335



		設問 1 2											
		当てはまる		どちらかという 当てはまる		どちらかという 当てはまらない		当てはまらない		無回答		計	
設問 8	当てはまる	12,722	83.0%	2,477	16.2%	93	0.6%	21	0.1%	8	0.1%	15,321	100.0%
	どちらかという当てはまる	2,287	56.6%	1,699	42.0%	43	1.1%	10	0.2%	4	0.1%	4,043	100.0%
	どちらかという当てはまらない	431	57.9%	270	36.2%	36	4.8%	5	0.7%	3	0.4%	745	100.0%
	当てはまらない	219	65.4%	90	26.9%	14	4.2%	11	3.3%	1	0.3%	335	100.0%

設問[8]の「1年生からの英語学習は良いことだと思う」の回答別に見ると、「お子さんが多文化について理解することは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に「当てはまる」で99.2%、「どちらかという当てはまる」で98.6%、「どちらかという当てはまらない」で94.1%、「当てはまらない」で92.2%と、1年生からの英語学習は良いことだと思う人ほど、お子さんが多文化について理解することは大切だと思う傾向が見られた。